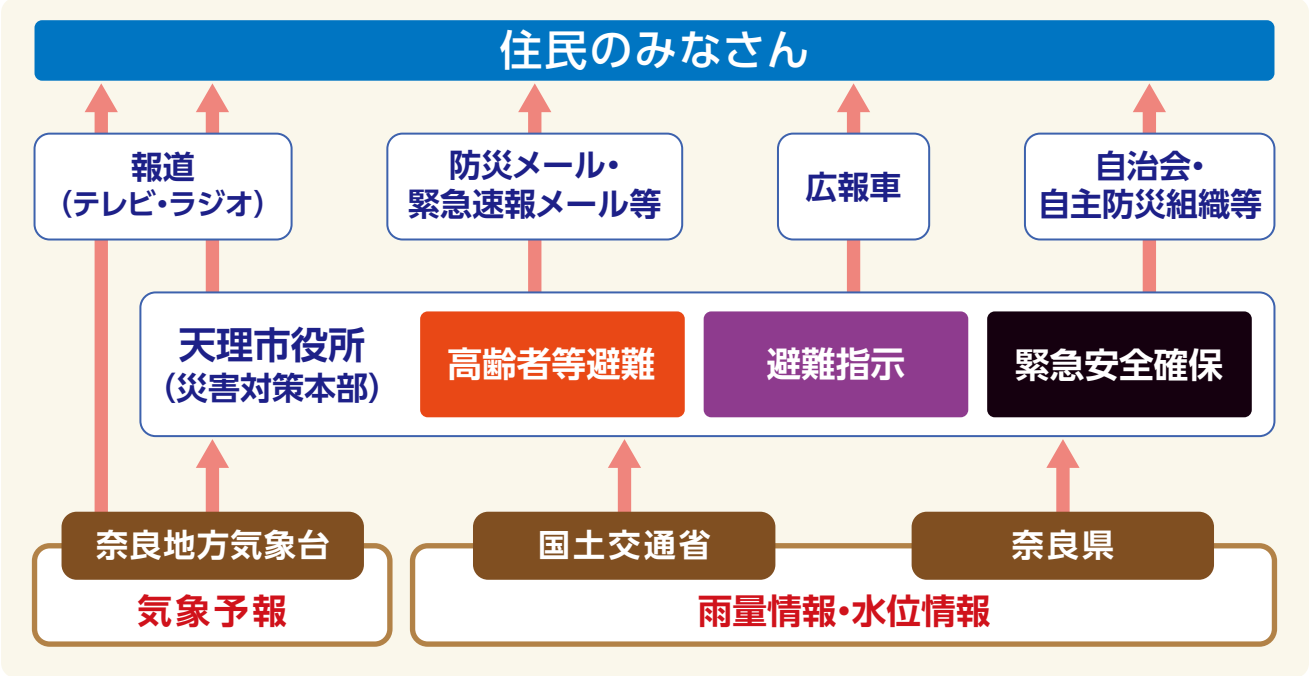


避難情報と警戒レベル

避難情報の伝達経路



水害の避難情報と警戒レベル

市が出す警戒レベル3又は警戒レベル4(避難情報)で必ず避難しましょう  
気象庁などから出る河川水位や雨の情報を参考に自主的に早めの避難をしましょう

| 避難情報等<br>(警戒レベル)           |                  |                    |                   | 防災気象情報<br>(警戒レベル相当情報) |                           |                          |                           |
|----------------------------|------------------|--------------------|-------------------|-----------------------|---------------------------|--------------------------|---------------------------|
| 警戒<br>レベル                  | 状 況              | 住民がとるべき行動          | 避難情報等             |                       | 河川氾濫<br>1級河川などの<br>大河川の氾濫 | 大雨<br>低地の浸水や<br>大河川以外の氾濫 | 土砂災害<br>急傾斜地のがけ崩れや<br>土石流 |
| 5                          | 災害発生<br>又は切迫     | 命の危険<br>直ちに安全確保!   | 緊急安全確保            | 5<br>相当               | 氾濫<br>特別警報                | 大雨<br>特別警報               | 土砂災害<br>特別警報              |
| ~~~~~<警戒レベル4までに必ず避難!>~~~~~ |                  |                    |                   |                       |                           |                          |                           |
| 4                          | 災害の<br>おそれ高い     | 危険な場所から<br>全員避難    | 避難指示              | 4<br>相当               | 氾濫<br>危険警報                | 大雨<br>危険警報               | 土砂災害<br>危険警報              |
| 3                          | 災害の<br>おそれあり     | 危険な場所から<br>高齢者等は避難 | 高齢者等避難            | 3<br>相当               | 氾濫警報                      | 大雨警報                     | 土砂災害<br>警報                |
| 2                          | 気象状況悪化           | 自らの避難行動を<br>確認     | 氾濫・大雨・土砂災害<br>注意報 | 2<br>相当               | 氾濫注意報                     | 大雨注意報                    | 土砂災害<br>注意報               |
| 1                          | 今後気象状況<br>悪化のおそれ | 災害への心構えを<br>高める    | 早期注意情報            | 1<br>相当               | 早期<br>注意情報                | 早期<br>注意情報               | 早期<br>注意情報                |

市長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

※上の表は、令和8年5月下旬より運用される新たな防災気象情報です。

避難行動の種類

- 「避難」とは「難」を「避」けることです。  
安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は小中学校・公民館だけではありません。  
安全な親戚・知人宅やホテル・旅館に避難することも考えてみましょう。

※緊急時に身を寄せる避難先は、市町村が指定する「指定緊急避難場所」や、安全な親戚・知人宅など様々です。  
普段からどこに避難するかを決めておきましょう。

避難行動は、下の4つが考えられます。

- 1 行政が指定した避難場所への避難  
命を守るために緊急的に避難する場所です。

※避難所と避難場所の違いに注意しましょう。  
避難所はその後の避難生活を送るための施設なので、切迫した災害の危険から逃れるためには避難場所に避難しましょう。  
※避難所と避難場所は相互に兼ねている場合もあります。
- 2 安全な親戚・知人宅への避難  
普段から災害時に避難することを相談しておきましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。
- 3 安全なホテル・旅館への避難  
通常の宿泊料が必要です。  
事前に予約・確認しましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。
- 4 屋内安全確保  
ハザードマップで以下の「3つの条件」を確認し自宅にいても大丈夫かを確認することが必要です。

※屋外への移動が困難な時は、がけから離れた部屋や2階などに避難しよう。
- 「3つの条件」が確認できれば  
浸水の危険があっても自宅に留まり  
安全を確保することも可能です

1 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない

2 浸水深より居室は高い

3 水がひくまで我慢でき、水・食料などの備えが十分

浸水時の水平避難と垂直避難

風水害では早めの避難が重要です。ただし、すでに避難経路が浸水しているなど、危険が間近に迫っている状況での無理な避難行動はできるだけ避けなければいけません。

そのような場合は、避難所への移動(水平避難)だけでなく、近隣ビルの高層階や自宅の2階といった高い場所への移動(垂直避難)を行い救助を待つという判断も必要です。

